

多様化時代の初中級生産技術者必須!! 利益につながるレイアウトの改善術

日本生産性本部(日本IE協会)主催

現場レイアウトの見方・考え方

会場参加1日
(オンライン可)

セミナー概要

日本のモノづくりは、顧客要求の多様化と地球環境の変化などにより、製品(P)、生産量(Q)、生産経路(R)、サービス(S)、時間(T)とリスク対応が大きく変革しています。しかし、工場内の生産技術者は、この変化に対応した「高付加価値を実現するあるべき姿のレイアウト」への標準的設計アプローチに対応できていない現実があるようです。本セミナーでは、工場レイアウトに影響する必要項目の分析と手順をまず理解し、生産方式に対応した現場レイアウトの見方から変え方までと、リスク対応を考慮したレイアウト視点での改善術の基礎から適用まで、演習、講師の豊富な経験をもとに、わかりやすく解説します。

講師



(株)MEマネジメントサービス 顧問
経営コンサルタント 技術士(経営工学)

小川 正樹 氏

(株)日本能率協会コンサルティングを経て、現在、(株)MEマネジメントサービス顧問。原価管理、原価見積、生産・物流管理システムの立案、構築、実施やIE改善を通じて総合的コスト

ダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務を中心に活動。また、開発・設計段階(CAD/CAMを含む)から製造までの領域を扱い、公開セミナーや社内教育も同時に行っている。著書に『よくわかる「レイアウト改善」の本』、『よくわかる「品質改善」の本』、『すぐに使える工場レイアウト改善の実務』/日刊工業新聞社、「必ずわかる原価計算のしくみと実務」、「データ分析と統計」/ナツメ社など。

参加者に進呈します!



小川講師 共著

開催日程とスケジュール

通い1日(オンライン受講可)

2025年4月17日(木)

第1日

10:00

10:00 開始

- レイアウト改善で現場が変わることは
 - 「レイアウト」って何?
 - 製造リードタイムが短縮できる
 - 運搬のムダが低減できる
 - 時間のムダや仕掛在庫スペースが削減できる
- レイアウトの鍵:PQRSTとSLP
 - SLPにおけるレイアウト改善のステップ
 - モノの流れを「見える化」する
 - 部門、機械設備、倉庫などの関係を相互関係図で整理する
 - ハザードマップとリスク対応策
 - 標準面積データを活用する
- リードタイムを短縮する生産方式とレイアウト改善の勘どころ
 - モノづくりの基本とレイアウト
 - レイアウトのタイプと特徴
 - リードタイムを短縮する同期生産方式の作り方
 - 同期生産方式の改善のポイントとレイアウト
- 生産品種と数量の変動に対応する生産方式とレイアウト改善の勘どころ
 - 工場が対応すべき要因と対応策
 - 1工程完結セルへの改善ポイントとレイアウト
 - 柔軟性を向上させるハイブリッド生産方式
 - 工場レイアウトの改善事例
- 現場のリスクアセスメントとレイアウト改善の実践
 - 現場で発生するリスクとは
 - 安全リスクアセスメントと危険予知
 - 生産性向上に結びつくレイアウト改善
 - ヒューマンエラー撲滅に結びつくレイアウト
- レイアウトを儲けにつなげる
 - レイアウト改善投資の採算性を計算する
 - 変動加工賃率を計算しよう

演習メニュー

- 現場で発生しているムダに見える化する
- 必要な面積を求め、レイアウト案を作成・評価する
- バランスロスを減らすライン編成分析の進め方
- サイクルタイムの異なる類似製品を同じラインで生産する
- レイアウト投資の損得を計算する

演習で使うWindowsPC
をご準備願います

17:00

17:00 終了

1名あたり参加費
(消費税10%込)

商工研会員

46,200円

一般(参考)

52,800円

テキスト代込み

講師：(株)MEマネジメント顧問 小川正樹氏
会場：千代田区平河町近隣 会議室